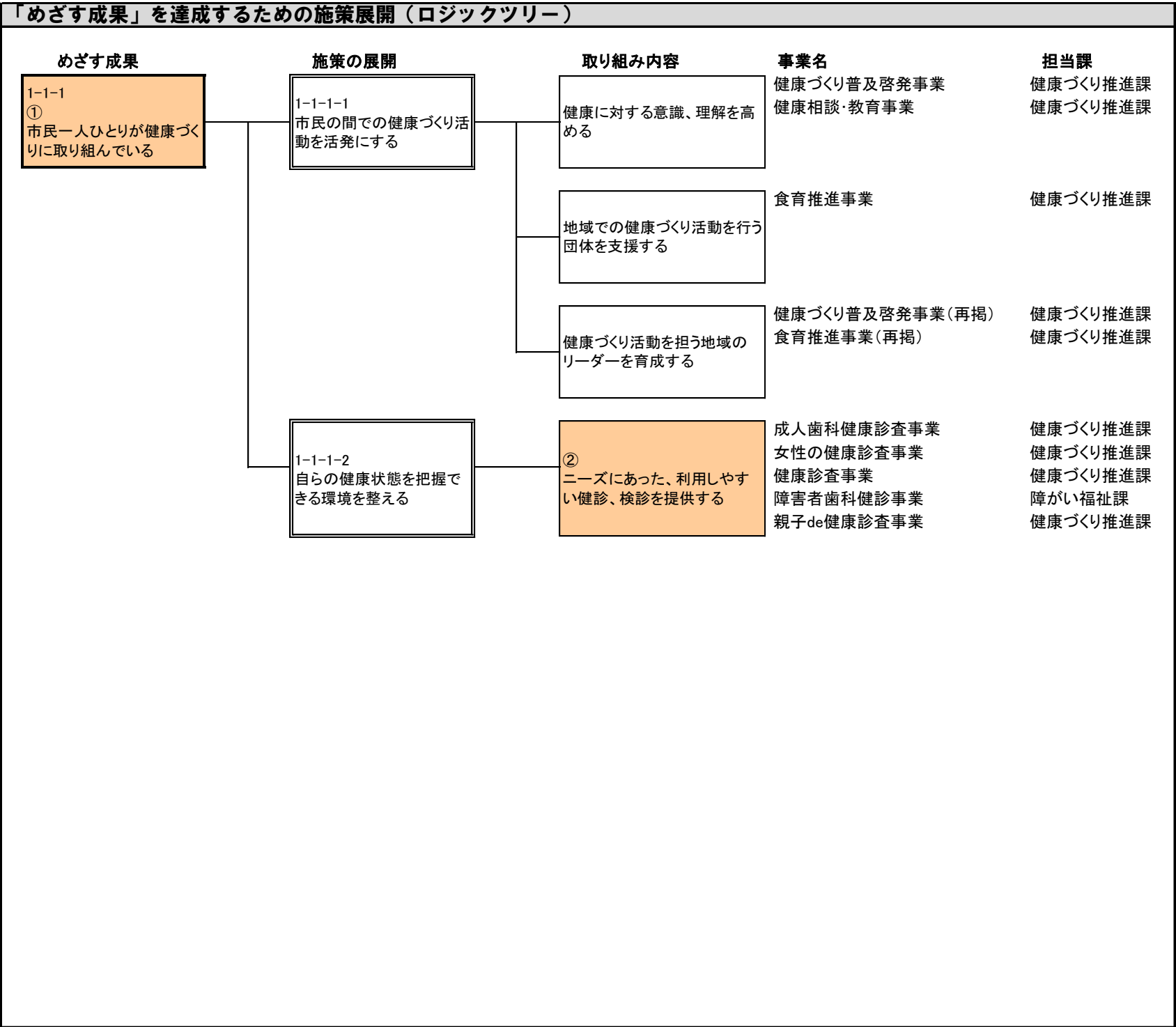


平成27年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
1－1－1 市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	心身の健康を維持・増進する
	めざす成果	市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいる 市民一人ひとりが健康づくりに取り組むとともに、自らの健康状態を把握し、健康管理に努めています。



成果を計る 主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画		
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	① 自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合	60.2%	75.0%	63.3%		69.0%	75.0%
	② 肺がん検診受診率	4.7%	27.5%	16.3%	16.9%	21.5%	27.5%

所 管 部	健康福祉部
平成２６年度の 取り組み内容	【市民の間での健康づくり活動を活発にする】 ・市内11地区での健康普及員の自主的活動に、延べ1,121人の市民が参加しました。また、より多くの市民が健康づくりに取り組めるよう、ウォーキングマップの改訂等を行いました。 ・正しい食の知識と調理技術の基礎を修得した食生活改善推進員を養成しています。養成後、地域のボランティア団体である食生活改善推進協議会に入会し、地域の食育アドバイザーとして、延べ3,948人が実践活動を行いました。 【自らの健康状態を把握できる環境を整える】 ・がんの早期発見、早期治療を目的として、がん検診を実施し、集団検診と施設検診を、合わせて59,386人が受診しました。 ・健康診査を受ける機会のない女性を対象として、女性健診を実施し、504人が受診しました。 ・糖尿病予防に重点をおいた訪問による保健指導を、延べ1,302人に実施しました。
構成事業に対する考え方 (事業の量及び実施手法)	・健康普及員がより一層、地域に根づいた活動を行うことができるよう、地域の関係団体と調整や支援が必要です。 ・食育を推進するため、食生活改善推進員（ヘルスメイト）をより多く養成し、地域のボランティア組織として活躍していただく必要があります。 ・がん検診については、未受診者への再勧奨を細やかに行うとともに、受診しやすい体制の整備を行う必要があります。 ・糖尿病に重点をおいた個別訪問を全市で効果的に実施できるよう、体制の整備が必要です。
今後の展開方針	
注) 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案	(該当する事務事業)
既存事業の拡充	(該当する事務事業) ・健康診査事業 ・健康相談・教育事業
事業の廃止・縮減	(該当する事務事業)
事業の効率化	(該当する事務事業)
その他見直し	(該当する事務事業)